

9月1日は「防災の日」

災害から命を守るために

8月9日の大雨は、市内にも大きな被害をもたらしました。地震や風水害など、突然の災害から命を守るために、日ごろの防災対策を見直してみましょう。



土砂で覆われた外川目地内の道路

集中豪雨から身を守るために

近年、全国各地で、短時間に極めて大量の雨が降り、大きな被害が発生しています。こうした集中豪雨から自分の身を守るためには、テレビやラジオなどで気象警報や注意報の発表状況を確認しておくことが必要です。

また、雨が降り続けている中で、河川や用水路、田んぼ、低地などにできるだけ近寄らないようにすることも大切です。水の状況は急変するため、非常に危険です。

土砂災害に注意を

集中豪雨や長雨などで地盤が緩むと、土砂災害(土石流や地すべり、崖崩れなど)が発生します。土砂災害は、私たちの生活に大きな被害をもたらす恐れがありますが、十分な準備と速やかな行動によって被害を最小限に抑えることができます。

土砂災害が心配される地域に住む皆さんは、危険を感じたら早めに避難することが被害を軽減する上で最も大切です。避難所まで行くのが難しいときは、家の中でも崖から離れた部屋や2階などに避

難しましょう。

土砂災害の前兆

土砂災害の危険をいち早く察知するためには、その前兆を知っておくことが重要です。土石流では、川の水位の極端な低下や水の濁り、土臭いにおいがするなどの現象が見られます。崖崩れでは、湧き水の発生や水の濁りのほか、小石がばらばらと落ちてくる可能性があります。このような前兆を確認したら、速やかに避難しましょう。

- 8月9日の大雨による本市の主な被害状況(8月15日現在)
- ▼人的被害：死者1人
 - ▼住家被害：床上浸水6棟、床下浸水47棟
 - ▼避難者：24世帯54人
 - ▼道路：のり面崩れ8カ所
 - ▼河川：護岸崩れ16カ所
 - ▼農地：冠水、土砂流入7.9畝、79カ所

【問い合わせ】
本庁防災危機管理課
(☎24・2111内線477)

非常時に備えてチェック!

チェック1 避難場所の確認
最寄りの避難場所と避難経路を確認し、事前に一度歩いておきましょう。

チェック2 家庭での備蓄
各家庭で3日以上分の食料や飲料水を確保しておきましょう。

チェック3 非常持ち出し品の用意
非常時に慌てることがないように、次のような持ち出し品を準備しておきましょう。

貴重品	現金、印鑑、保険証、預金通帳、身分を証明できるものなど
衣類・洗面用具	下着、靴下、セーター、タオル、せっけん、歯磨き用品、紙おむつなど
水・食料品	飲料水、非常食、粉ミルクなど
道具類	懐中電灯、携帯ラジオ、乾電池、軍手、マッチ・ライター、栓抜き・缶切り、ティッシュ、使い捨てカイロ、筆記用具、雨具、救急セットなど

救急車・救急医療の適正利用にご協力を

9月9日は救急の日 9月8日～14日は救急医療週間

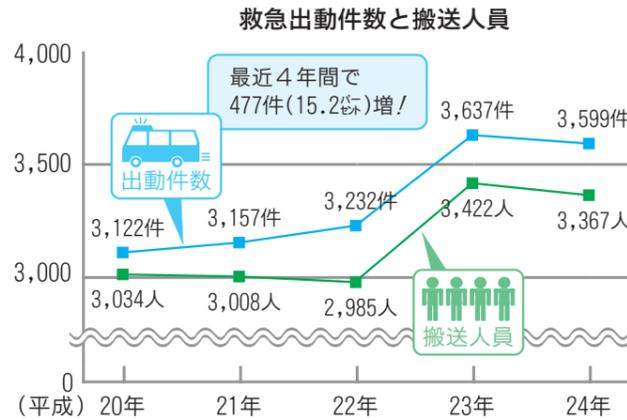
救急車、救急医療利用の現状

本市の平成24年の救急車出動件数は3599件。4年前の平成20年と比べ477件(15.2%)増加しています(下図参照)。しかし、同24年に搬送された人のうち、約3分の1は入院を必要としない軽症患者であったという現状があります。

この背景には、症状に緊急性がないにもかかわらず、「交通手段がない」「どの病院に行けばいいかわからない」「便利だから」という、自分勝手な都合による救急車の利用があります。

また、「平日は休めないから」「日中は用事があるから」「明日は仕事だから」などの理由で、病院の救急外来を夜間や休日に安易に受診する人もいます。

救急車や救急医療を軽い病気やけがなどで利用すると、生死にか



かわる患者の「救える命」が救えなくなる可能性があります。救急車や救急医療は地域の限りある資源です。本当に必要な人が安心して使えるよう、この機会に利用の仕方を考えてみましょう。

応急手当web講習



応急手当の基礎がインターネットで学べる応急手当web講習がスタートしました。この講習と市消防本部の実技講習を組み合わせることで、より短時間で普通救命講習を終了することができます。

応急手当web講習の流れ

- ①インターネットに接続されたパソコンやスマートフォンなどから次のアドレスにアクセス
<http://www.city.hanamaki.iwate.jp/fd-elearning/>
 - ②動画やスライドで学習をスタート
 - ③修了テストを実施(合格すると、受講修了証明書が発行されます)
- ※引き続き、実技講習を受講する場合は、修了証明書を提示してください。実技講習は10月と平成26年2月に開催予定。その他の日に受講を希望する場合は、消防本部警防課へ連絡してください

救急車の上手な使い方

■救急車の呼び方

119番通報すると、指令員が救急車の出動に必要なことを順番に伺います。慌てずゆっくり次のことを答えましょう。

- ①火災と区別するため「救急です」
- ②発生場所(住所)と近くの目標物
- ③病気やけがの状態と人数
- ④事故の場合はその状況
- ⑤電話番号と通報者の名前



■救急車が来るまでに準備しておく便利なもの

- ▽保険証や診察券▽お金▽靴▽普段飲んでる薬とお薬手帳(乳幼児の場合)▽母子健康手帳▽紙おむつ▽哺乳瓶▽タオル

■救急車が来たら伝えること

- ▽事故や具合が悪くなった状況
- ▽救急隊が到着するまでの変化
- ▽実施した応急手当▽具合が悪い人の持病、かかりつけ医療機関、飲んでる薬などの情報

※救急車の利用方法や、救急指定病院についての問い合わせは左記へ

【問い合わせ】
消防本部警防課
(☎24・2111内線377)